

# ナイト・ミニコンサート

2017年12月22日（金）

国立西洋美術館 講堂（企画展示館地下2階）

開催中の北斎とジャポニスム展の  
チケットが必要です。（半券も可）

\*ステージ① 18:00～18:30（開場 17:30）

\*ステージ② 19:30～20:00（開場 19:00）※各ステージとも、出演者、プログラムは同じです。

各回定員 130人

※当日、各回の開演1時間前より館内で整理券を配付いたします。  
定員に達した際にはご入場いただけません。

## プログラム

- ♪ 宮城道雄：春の海（弦楽四重奏版）
- ♪ ドビュッシー：弦楽四重奏曲 ト短調 作品10 より第1楽章
- ♪ 八木節（弦楽四重奏版）
- ♪ クリスマスソング・メドレー

“ジャポニスム”とは、19世紀後半に日本美術からヒントを得て西洋の芸術家たちが自分たちの芸術を発展させた現象を指しますが、音楽の分野でも大きく影響を受けた作曲家がいました。クロード・ドビュッシーは、その代表作、交響詩『海』の楽譜の表紙（開催中の北斎とジャポニスム展で展示中）に葛飾北斎の「神奈川沖波裏」の図柄を使用するなど日本美術に魅了されたひとりです。今回は、東京都交響楽団メンバー（弦楽四重奏）による演奏で、ジャポニスムに関わりの深いドビュッシーの作品と日本の音楽、クリスマスソングをお送りいたします。展覧会と合わせてお楽しみください。



ヴァイオリン  
塩田 脩



ヴァイオリン  
三原 久遠



ヴィオラ  
村田 恵子



チェロ  
江口 心一

撮影：© 堀田力丸

## 東京都交響楽団

Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称：都響）。

現在、大野和土が音楽監督、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者、ヤクブ・フルシャが首席客演指揮者を務める。定期演奏会を中心に、小中学生への音楽鑑賞教室、多摩・島しょ地域での訪問演奏や福祉施設での出張演奏など、多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー交響曲集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）まで多岐にわたる。2013年には「プラハの春」音楽祭に出演。2015年に創立50周年を迎え、ベルリン・ウィーンなど5ヶ国6都市をめぐるヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈的な喝采を浴びた。《首都東京の音楽大使》として、来たる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術の活性化を目指している。<http://www.tmsco.or.jp/>



※やむを得ない事情により、内容を変更または中止する場合がございますので予めご了承ください。

# 北斎と HOKUSAIが 西洋に与えた衝撃 ジャポニスム

[企画展示室]

2017年10月21日(土)  
— 2018年1月28日(日)

休館日：月曜日(ただし、1月8日(月)は開館)、  
2017年12月28日(木)～2018年1月1日(月)、1月9日(火)

[公式サイト] <http://hokusai-japonisme.jp>

(左) クロード・モネ《陽を浴びるポプラ並木》1891年 油彩、カンヴァス 国立西洋美術館(松方コレクション)  
(右) 葛飾北斎《富士三十六景 東海道程ヶ谷》1830-33(天保元-4)年頃 横大判錦絵 ミネアポリス美術館  
Minneapolis Institute of Art, Bequest of Richard P. Gale 74.1.237 Photo: Minneapolis Institute of Art

19世紀後半、日本の美術が、西洋で新しい表現を求める芸術家たちを魅了し、“ジャポニスム”という現象が生まれました。なかでも最も注目されたのが、天才浮世絵師・葛飾北斎(1760-1849)。その影響は、モネやドガら印象派の画家をはじめとして欧米の全域にわたり、絵画、版画、彫刻、ポスター、装飾工芸などあらゆる分野に及びました。本展は西洋近代芸術の展開を“北斎とジャポニスム”という観点から編み直す、日本発・世界初の展覧会です。国内外の美術館や個人コレクターが所蔵するモネ、ドガ、セザンヌ、ゴーガンをつくめた西洋の名作約220点と、北斎の錦絵約40点、版本文約70点の計約110点(出品点数は予定、会期中展示替えあり)を比較しながら展示します。北斎という異文化との出会いによって生み出された西洋美術の傑作の数々を堪能しながら、西洋の芸術家の眼を通して北斎の新たな魅力も感じていただけることでしょう。

[版画素描展示室(新館2階)]

《地獄の門》への道—ロダン素描集『アルバム・フナイユ』

2017年10月21日(土)～2018年1月28日(日)

《地獄の門》制作に取り組み始めたロダンはまず、ダンテの『神曲』「地獄篇」をめぐる大量のデッサンを描いた。1897年に出版された大型素描集『オーギュスト・ロダンのデッサン』(『アルバム・フナイユ』)は、そのうちの142点をフォトグラヴィールによって複製したもので、ロダン自身が制作プロセスに深く加わり、後の「画家本」の先駆ともいわれる。《地獄の門》の関連彫刻作品とともに、この素描集の全図版を紹介する。



《復讐の女神エリニウスの一人》  
国立西洋美術館

## 国立西洋美術館 The National Museum of Western Art

国立西洋美術館ではフランス近代の絵画・彫刻を中心とした「松方コレクション」を基礎とし、14世紀から20世紀半ばまでの西洋の美術作品の展示を行っています。昨年7月、「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」の構成資産のひとつとして世界文化遺産に登録されました。

JR上野駅下車(公園口出口)徒歩1分

京成電鉄京成上野駅下車徒歩7分

東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車徒歩8分

※美術館には駐車場はございません。

お問い合わせ 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

国立西洋美術館ホームページ <http://www.nmwa.go.jp/>

金曜日・土曜日は 20:00 まで開館 (入場は 19:30 まで)